

〈参 考〉 韓-インド CEPA 推進経過

- ・ 2004 年 5 月 対外経済長官会議でインドを FTA 推進対象国として確定
- ・ 2004 年 10 月 ニューデリー開催、両国首脳会談で、政府・学界・財界者で構成された共同研究グループ (JSG) 設立合意
任務: 商品およびサービス交易、投資、その他経済協力関連分野を含んだ包括的経済連携協定 (CEPA) の妥当性をはじめとする両国間経済的きずな関係を包括的に検討し、経済協力をより緊密化するための具体的方案提示
- ・ 2005 年 1 月 (ニューデリー)、5 月 (ソウル)、8 月 (ニューデリー) 3 回の JSG 会議開催
商品およびサービス交易、投資、両国間経済協力など分野別議論、研究報告書草案および CEPA 締結妥当性検討
- ・ 2005 年 12 月 『FTA 締結手続規定』にともなう公聴会開催
韓・インド CEPA 推進の必要性に対する強いコンセンサスを形成
- ・ 2006 年 1 月 6 日 第 4 次共同研究グループ会議で最終報告書採択
- ・ 2006 年 1 月 26 日 対外経済長官会議で CEPA 交渉開始決定
- ・ 2006 年 2 月 7 日 インド大統領国賓訪問し、“韓-インド CEPA 推進共同作業班 (Joint Task Force) 開始の閣僚共同声明”署名
- ・ 2006 年 3 月 23~24 日 韓-インド CEPA 第一次交渉開催 (ニューデリー)
交渉運営規則 (Terms of Reference) 制定、交渉文と構成、協定文・譲歩案の交換時期、今後交渉日程など合意
- ・ 2006 年 5 月 10~12 日 韓-インド CEPA 第 2 次交渉 (ソウル)
- ・ 2006 年 7 月 18~21 日 第 3 次交渉開催 (インド)
商品自由化の方式および程度、非関税障壁解消、原産地規定、サービスおよび投資自由化のための基本原則など両国の関心事項を韓国側が準備した協定文草案を中心に議論